

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人カルスト会

令和4年度 社会福祉法人カルスト会 事業報告

令和2年1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染者が出て以来、終息の目途は立たない中で3年目となった。行政及び栲原病院の協力を得て、利用者及び職員のワクチン接種は4・5回目を集団接種することができたほか、県からはマスクやガウン等の感染対策用品、検査キットの配布または支給があった。残念ながら、昨年11月下旬に栲原ふじの家と栲原みどりの家で利用者及び職員に感染者が続出し、クラスター発生となった。今年の1月初旬には収束をしましたが、皆様には大変ご心配をお掛けし、利用者及びご家族にも大変ご苦勞をお掛けしました。また、今年5月には感染症法上の2類相当から5類感染症へ移行することになっておりますが、必要な感染予防と対策については継続して行きます。

運営面については、各事業とも概ね計画通りに進捗できましたが、常勤職員の退職者が想定外に15人（正職13人、嘱託1人、臨時1人）あり、サービス提供体制の維持及びサービスの質を落とすことは避けなければならず、栲原ふじの家の定員について、県担当課及び栲原町と相談した結果、今年3月より入所73人（7人減員）、短期入所7人（8人減員）の80人に定員を変更した。栲原みどりの家については、定員割れは続いており、待機者がいない中で、やむを得ない事情により当面の間利用受け入れの中止を決定し、県担当課及び関係市町に連絡した。職員の退職理由については、結婚、家庭事情、別の仕事をしたいほか、人間関係性を理由に退職する者もあり、上司への不満や日頃の上司・職員間のコミュニケーション、互いに尊重し合うことが不十分の内容であった。

経営面については、職員数の減による各種加算等収入の減、世界的なエネルギー価格や物価高騰による影響は燃料・電気料金・資機材に及んだ。また、国・県の補助金では、物価高騰緊急対策給付金及び介護サービス事業所等提供体制確保補助金収入もあった中で事業収入の減が影響し、法人全体の当期資金収支差額はマイナスとなった。

職員の確保については、常勤2名と非常勤2名を雇用し、求人については引き続きハローワーク、専門学校、福祉大学、人材センター登録など広く行った。また、数年ぶりとなる学卒者の採用について、令和4年度高知県立大社会福祉学部卒業の1名について令和5年度4月採用を決定した。

施設整備については、栲原みどりの家のクーリングタワーの更新、非常口誘導灯の全LED化、両施設に感染対策に基づく面会室を設けるなど整備を行った。また、栲原ふじの家改修計画については、現場職員の意見も踏まえ、地元のケイズ設計にご協力いただき、全4回の検討を行い、令和5年度から本設計に進むことになった。

第2期中期事業計画（2年次）は、3月に1年間の取り組みについて検証を行い、ケアの質の向上、業務の改善や見直しについては全体的に目標値に同じまたは近い結果もあり、チーム力の向上に繋る評価もあった。また、感染対策の長期化やクラスターの発

生、職員数の減により、業務がこれまで以上に忙しくなったことで表情や言葉づかいに出てしまった反省点もあった。上司に対する不満や職員間のコミュニケーションについて少数ながら意見もあり、互いに信頼し合い、尊重することを意識し、理解を深めて行く必要性が課題となった。

法改正のあった改正育児・介護休業法、改正女性活躍推進法については、必要な規則の改正を行った。また、昨年10月にあった高知県最低賃金の改定（853円）に関し、臨時職員の賃金規程の見直し及び物価高騰等の社会情勢を踏まえベースアップを行ったほか、ガソリン価格の高値が続いている中で、通勤手当の規則改正を行った。

1. 組織

1) 理事名簿

令和5年3月31日現在

	役職	氏名	住所	職業等	就任年月日
1	理事長	中越 平		団体役員	H12.3.23
2	理事	空岡 則明		会社役員	H23.4.1
3	〃	岡田 量		無職	H27.4.1
4	〃	熊岡 健		職員	H29.4.1
5		岩崎 悦子		職員	H29.4.1
6	〃	掛橋健一郎		職員	R3.6.17

2) 監事名簿

令和5年3月31日現在

	氏名	住所	職業等	就任年月日
1	山口 敏		農林業	H24.4.1
2	西村 建雄		自営業	R3.6.17

3) 評議員名簿

令和5年3月31日現在

	氏名	住所	職業等	就任年月日
1	西村 正義		建築業	H29.4.1
2	松山 栄喜		農林業	H29.4.1
3	中越 計清		〃	H28.5.25
4	宮本 友和		自営業	H27.4.1
5	中平 節子		無職	R3.6.17
6	沖田 佳久		自営業	H29.4.1
7	中越 祥恵		無職	R4.6.9

4) 職員構成

令和5年3月31日現在

施設名等 職名	本 部	居 宅 介 護 支 援 事 業 所	梶原みどりの家	特 定 相 談 支 援 事 業 所	梶原ふじの家	合 計 (実人数)
事務局長	1					1
所属長		(兼 1)	1	(兼 1)	1	4
事務員	2					2
介護支援専門員		2			2	4
相談支援専門員				嘱託 1		1
サービス管理責任者			2 (兼 1/嘱託)			2
生活相談員					嘱託 1	1
生活支援員			(兼 1)			1
機能訓練指導員			1		1	2
管理栄養士					1	1
栄養士			1			1
看護師			3		4 (嘱託 1) (パート 1)	7
介護員			38 (嘱託 2) (臨時 6) (パート 6)		34 (嘱託 1) (臨時 2) (パート 10)	72
計 (実人数)	3	3	47	2	44	99 (95)

令和 4 年 度 カルスト会居宅介護支援事業所 事 業 報 告

令和 4 年度の月平均請求件数については、昨年度の 66 件から 4 件増え 70 件となった。この要因として、新規利用者数について昨年度の 24 名に対し 28 名と若干増えたことに加え施設入所された方は昨年度の 21 名から 17 名となっていることから 4 件の微増に繋がったと考えられる。また、在宅での看取り及びターミナルケアのプラン作成件数は 3 件となっており、梶原病院や各事業所等と連携を密に取りながら対応を行った。

介護度別の内訳としては、ここ数年大きな変化はなく要介護 1、2 及び 3 の方が中心となっている。サービス種別におけるケアプラン作成件数については、例年通りデイサービス、福祉用具貸与を利用される方が多い状況が続いているが、訪問介護や、年度末の梶原ふじの家の短期入所定員の減床に見られるように、サービスの担い手不足による受け入れ困難事例も増えており、高幡圏だけでなく鬼北町にも受け入れのお願いはしているが、距離的な問題や当事業所の力不足もあり、利用者ならびにご家族の希望通りにサービスが利用できずご迷惑を掛けている状態である。特に働きながら介護を行うワーキングケアラーにとって、レスパイトの要である短期入所のベッド数の確保は急務であり、次年度の喫緊の課題とし、少しでも早く利用者やご家族の希望に沿えることができるよう対応していきたいと考えている。

12 月には介護サービス情報公表制度における現地調査も行われたが、滞りなく終えることができた。

1. 要介護度別利用状況

サービス種別ケアプラン作成状況 (延べ人数)

単位：人

	要介護度					計
	1	2	3	4	5	
デイサービスゆりり	216	234	104	37	13	604
訪問介護	57	14	48	16	12	147
訪問看護		5		4	10	19
訪問リハビリ		13	25	25	24	87
福祉用具貸与	83	205	131	59	37	515
特養ふじの家短期入所	44	92	59	21	4	220

	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	計
R4						
4 月	20	23	17	6	3	69
5 月	22	24	17	7	2	72
6 月	22	25	16	5	3	71
7 月	23	24	14	6	3	70

8月	25	25	13	5	3	71
9月	25	24	13	6	3	71
10月	23	23	14	6	3	69
11月	23	23	15	5	3	69
12月	25	23	14	5	3	70
R5 1月	24	25	13	6	3	71
2月	21	26	12	5	4	69
3月	21	27	10	7	4	69
平均	22.8	24.3	14.0	5.8	3.1	^{840人} 70.0

(令和3年度 平均 65.7人)

令和4年度 障害者支援施設栲原みどりの家 事業報告

今年度も感染症には特に留意しながら取り組んで参りましたが、11月に新型コロナウイルスに利用者、職員ともに感染し、利用者の隔離や職員の出勤停止など嘱託医や保健所等の指導に基づき対応し、重篤者はおらず約3週間で棟の閉鎖等は解除することができました。

この間、利用者のご家族にはご心配をお掛けし、職員のご家族にはご協力をいただきました。今回の感染状況については感染経路等の検証を行い、今後の感染予防に活かして参ります。

施設運営につきましては、2月に1名（四万十町から）の入所があり、年度末は68名の在籍者数で、85%に足りない稼働率となりました。平成27年度より続く定員割れは改善されず、各棟居室をまばらに使用している状況から、利用者、職員の動線を考え、利用者支援のあり方について次年度からの業務の見直し等によるサービス提供体制の検討を行った。

また、職員については、配置基準を満たす職員数の確保はできていますが、年度末にも数名の介護員が退職するなど現状の利用者支援を行うにあたり、余裕のある状況でないことから、やむを得ず新規利用者の受け入れを休止することとし、サービス提供体制の見直しを含め、関係市町には文書を送付した。

7月には高知県福祉指導課による実地指導を受け、文書指導事項はありませんでしたが、口頭指導で、重要事項説明書、利用者負担額に関する記載事項、個別支援計画ほかについて指導があった。4月の異動で部署統括を担うこととなった職員にとっては、直接指導や質問事項のやり取りがあった中で、学んだことも多くよい経験となりました。

施設行事については、新型コロナウイルス感染症の流行で開催を見送っていた「涼みの集い」を今年度は規模を縮小し、外部から招くことをせず利用者職員のみで行い、天候にも恵まれ、打ち上げ花火を眺めながら楽しむことができました。

本年度から委員会を組織し取り組んだノーリフトに関しては、職員の身体の使い方や、実技の勉強会等活発な意見交換をするなど知識や技術も徐々に深まり、日々の利用者支援で活用できつつあります。

施設整備については、前年度に続く空調設備の更新で吸収式冷温水発生機の改修工事を行い、ホールや廊下・食堂など施設内共用部の環境の整備を行った。

苦情相談員（第三者委員）について、今年度で任期満了となる中平俊一氏について、長く務めていただいている中で、引き続き次年度から2年間（8期目）務めていただくことになった。

1. 施設利用状況（令和4年度）

1) 利用者状況

在籍者数	性別	前年度末	R4 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5 1	2	3	
人数 (月末)	男	47	47	47	46	45	45	45	45	43	43	43	44	44	
	女	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
合計		72	72	71	70	69	69	69	69	67	67	67	68	68	
内訳	入所	男	1										1		
		女	0												
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	退所	男	4			▲1	▲1			▲1 10/31	▲1				
		女	1		▲1										
計	5														
増/減 (▲)		▲4	0	▲1	▲1	▲1	0	0	▲1	▲1	0	0	1	0	

2) 市町村別利用者数

令和5年3月31日現在

県内	市町村	人数		県外	市町村	人数																	
		男	女			男	女																
高知県	高知市	7	1	愛媛県	宇和島市	3	2																
	香美市	1	0		西予市	1	0																
	香南市	0	1		今治市	0	1																
	安芸市	1	0		愛南町	3	1																
	四万十市	1	0	愛知県	小牧市	0	1																
	宿毛市	2	1	鳥取県	鳥取市	1	0																
	いの町	1	2	県外計		8	5																
	佐川町	1	0	合計		44	24																
	土佐清水市	1	0																				
(高幡圏)	須崎市	4	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平均年齢</th> <th>最高齢</th> <th>最年少</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>62歳</td> <td>83歳</td> <td>24歳</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>66歳</td> <td>89歳</td> <td>41歳</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td colspan="3">平均 64歳 (前年度 62歳)</td> </tr> </tbody> </table>				平均年齢		最高齢	最年少	男性	62歳	83歳	24歳	女性	66歳	89歳	41歳	全体	平均 64歳 (前年度 62歳)		
	平均年齢		最高齢					最年少															
	男性	62歳	83歳					24歳															
	女性	66歳	89歳					41歳															
	全体	平均 64歳 (前年度 62歳)																					
四万十町	5	1																					
中土佐町	0	3																					
津野町	4	1																					
梶原町	8	5																					
県内計		36	19																				

3) 生活介護・施設入所支援

単位：利用延人数

事業	開所日数	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
生活介護	261			1,851	2,427	3,469	9,780	17,527

施設入所	365			2,589	3,394	4,850	13,675	24,508
------	-----	--	--	-------	-------	-------	--------	--------

◇稼働率

R4年度	生活介護（定員 80 人）		施設入所支援（定員 80 人）	
	83.9%	67.1/1 日	83.9%	67.1/1 日
前年度	生活介護（定員 80 人）		施設入所支援（定員 80 人）	
	91.8%	73.4 人/1 日	91.8%	73.4 人/1 日

4) 短期入所

(津野町・栲原町)

区分	開所日数	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
日数	365	—	63	25		—	—	88

◇稼働率

年度	短期入所（定員 8 人）	
R4年度	3.0%	0.2 人/1 日
前年度	11.0%	0.8 人/1 日

5) 日中一時支援事業

利用実績なし。

6) 入所者状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

◇年齢別構成

20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳
1 人	0 人	0 人	2 人	3 人	2 人
50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	80 歳以上
6 人	11 人	11 人	9 人	17 人	6 人

◇障害支援区分別利用者数

	軽度			最重度			
障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計
男			4	9	9	22	44
女			1	3	4	16	24
計			5	12	13	38	68
比率 (%)			7.4	17.6	19.1	55.9	100.0
	平均障害支援区分						5.2

令和4年度 カルスト会特定相談支援事業所 事業報告

今年度は、介護保険サービス利用や町外に転出された利用者もあり、件数はそれぞれ若干減少した。

利用契約は、昨年度は82件でしたが、今年度は新規契約が3件、契約解除が6件と年度末の契約件数は79件と減少した。

サービス利用計画に関しては2件の減少となり、地域利用者のモニタリングは2件増加していますが、総数は昨年度の153件から130件と減少した。

新規利用者の契約では、事業者側に、利用者の持病に対するとっさの対応等不安な点があるようでしたが、細かく協議しサービスの利用につなげた。

今後も地域の限られた資源、専門機関等と連携を図り、可能な限り障害者の安定した日常生活とサービス利用・継続に向け支援に取り組んで参ります。

1. 利用契約・サービス利用計画・モニタリングの実績

◇相談支援契約（前年度末：82件）

	契 約		サービス利用計画			モニタリング			訪問件数
	新規	解約	入所者	地域	計	入所者	地域	計	
R2									
4月			1	1	2	9	2	11	13
5月		1			0	6	2	8	8
6月		1	5		5	18	4	22	27
7月		1		1	1	6		6	7
8月	1		2		2	3	3	6	8
9月					0	12	6	18	18
10月		1	3		3	6	1	7	10
11月	1	1	3	2	5	10	1	11	16
12月				1	1	10	4	14	15
R3									
1月	1		8	1	9	6	2	8	17
2月			2		2	1	2	3	5
3月		1	2		2	10	6	16	18
合計	3	▲6	26	6	32	97	33	130	162
契約 件数	79		施設入所：62件 地 域：17件（就労継続B型、居宅介護、短期入所）						

令和4年度 特別養護老人ホーム栲原ふじの家 事業報告

はじめに、昨年11月下旬に発生し、今年1月初旬に収束した新型コロナウイルス感染症の大規模クラスターについて、感染者数は、利用者53名、職員25名となり、入所・短期利用・面会の制限等せざるを得ない状況になりました。家族及び関係の皆様には不安並びに大変ご心配とご迷惑をお掛けしました。皆様のご理解とご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

職員に多数の感染者出た中で、濃厚接触者を含め、定めたルールに基づき一定の期間自宅待機し、勤務できる職員一人ひとりが責任を持ってサービス提供体制の維持に努めた。また、栲原病院、栲原町社会福祉協議会からは職員出向契約により看護師の派遣をしていただき、業務体制への影響を最小限にとどめる事ができ、心より感謝いたします。残念ながら、感染し基礎疾患があった利用者2名が退所となったことは、高齢である利用者にとってリスクの高い感染症であることを改めて意識させられた。今後も施設に持ち込まないことを基本に、職員それぞれが予防策を徹底し、関係機関と連携・協力できる体制を構築しながら取り組んで行かなければならない。

介護報酬については、新型感染症の感染拡大及びクラスター発生が影響し、特養本体では入所待機の状態が1ヶ月以上続いたこと、短期入所生活介護事業では利用の減少、3月には職員数の減によりサービスの質と提供体制を維持するために入所定員の変更を行ったことにより、当初の収入見込みを大きく下回る結果となった。また、電気・燃料代及び物価の高騰や感染対策の費用が増大したことも収支に影響した。

利用者数については、入所定員の変更もあり年度末で72人の在籍となった。また、看取りケアについては、面会できる環境を提供することで、施設を希望する家族も多く14名についてケアを行った。家族や身内の方々からは、お礼や労いの言葉をいただき、職員が心のこもったケアを提供できた結果だと振り返る。

市町村への事故報告は18件あり、転倒等による骨折事故が多く、今後は、事故防止検討委員会や勉強会等で、防げる事故を未然に防ぐ意識づけと対策を徹底し、身体介助で機能低下が見られた時には、部署や職員間で情報共有し、早期に福祉用具等の活用を考えていく必要がある。

これまでの経過を踏まえ、この3月から根本的にこれまでのサービス提供体制を見直し、新たなサービス提供体制に移行し、日々部署及び職員間で課題等の業務改善に取り組みつつ、現在のところサービスの質の維持は出来ている。

今年度ノーリフティングケアの取り組みが評価され、高知県知事から第三回高知家ノーリフティング優良事例表彰優秀賞を受けた。このことは、日頃から利用者との双方に負担が掛からないケアの提供と質の向上に努めてきた結果であり、職員の自信にもつながった。

中期事業計画は第2期となり、第一年次の「業務効率化によるサービス提供に係る生産性の向上」については、職員が意見を出し合い、考え行動することにより徐々に結果も出ている。今後も職員一丸となって更なる業務の効率化と生産性向上に努めていく。

施設行事については、利用者との接触を家族等についても制限している中で、利用者には寂しい思いをさせましたが、利用者から希望のあった町内のドライブを再開し、楽しいひと時となった。今後も利用者喜んでいただける行事を計画して行きます。

令和6年度に計画している施設旧館の改修工事については、施設改修委員会を設け、

職員の業務動線や、利用者にとっても快適で安全な生活環境を考え、専門業者との打ち合せや先進施設の情報など得ながら、計画に反映できるよう検討を行った。

1. 利用者状況

1) 市町村別入退所状況・年度末入所者数

単位：人

区分	入 所			退 所			令和5年3月末		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
市町村									
梶原町	5	15	20	10	17	27	18	44	62
土佐市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
須崎市	1	0	1	1	0	1	1	0	1
南国市	0	1	1	0	0	0	0	1	1
津野町	0	1	1	0	1	1	0	1	1
西予市	1	0	1	1	0	1	2	3	5
宇和島市	0	0	0	1	0	1	0	1	1
鬼北町	0	1	1	0	0	0	0	1	1
計	7	19	26	13	19	32	21	51	72

2) 介護度別一覧

単位：人

要介護度 3	39	令和4年度 平均介護度 3.58 (令和3年度 平均介護度 3.74) 令和4年度 年間在所延日数 26,625 日 (令和3年度 年間在所延日数 27,427 日)
要介護度 4	24	
要介護度 5	9	

3) 入院・外泊等状況（請求ベース）

	令和4年度	令和3年度
延べ日数	1,429 日	968 日
月平均	119.1 日	80.6 日
1日当り	3.9 人	2.7 人

4) 入退所状況

単位：人

入所	自宅より	10	
	病院より	5	梶原病院(1)・内田脳神経外科病院(1)・正光会宇和島病院(1)・清和病院(1)・大西病院(1)
	他施設より	11	ケアハウスゆるり(2)・老健つくし苑(1)・老健あうん高知(1)・老健あけぼの(1)・ベテルホームすさき(2)・ケアハウス四万十ピア(2)・グループホーム桜桃(1)・グループホーム朝倉(1)
	計	26	

退所	死 亡	28	施設看取り 14 名・梶原病院 10 名・近森病院 1 名・須崎くろしお病院 1 名・施設急変 2 名
	その他	4	入院継続 4 名
	計	32	

5) 男女別年齢構成

令和 5 年 3 月 31 日現在

年齢範囲	男	女	構成比(%)	最高齢	最年少	平均年齢
55 ~ 60	0	0	男:29% 女:71%	男: 96 歳 女:100 歳	男:71 歳 女:73 歳	男:85.3 歳 女:89.8 歳
61 ~ 69	0	0				
70 ~ 74	3	1				
75 ~ 80	2	6				
81 ~ 85	3	4				
86 ~ 90	9	14				
91 ~ 99	4	21				
100 以上	0	5				
合 計	21	51				

6) 短期入所利用状況

※延日数保険外利用含む

月	実人員	(内、予防)	(内、保険外)	延べ日数
4 月	26	(3)	(0)	221
5 月	25	(2)	(3)	294
6 月	18	(1)	(1)	167
7 月	20	(1)	(2)	217
8 月	21	(1)	(1)	194
9 月	15	(0)	(0)	155
10 月	22	(1)	(2)	267
11 月	22	(1)	(1)	210
12 月	8	(0)	(3)	123
1 月	17	(0)	(3)	251
2 月	17	(0)	(3)	208
3 月	19	(0)	(2)	218
計	240	(10)	(21)	2,525
1 日平均	6.9 人	令和 3 年度 2,551 人 (1 日平均 7.0 人)		